

事務事業名	道水路の維持管理事業		所属部局	建設部		単位番号	7008		
			所属課室	道路整備課		課長名	入倉隆士		
			所属担当	維持担当		担当者名	時田一直		
基本政策	基本計画体系	III うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	
政策	11	道路網の整備	事業区分	01	一般	0	8	0	
施策	18	生活関連道路の整備							
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 年度)			法令根拠					
		☐ 期間限定複数年度 (年度)							
事務事業の概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市民生活の安全性、快適性を確保するために、市内全域の道水路の維持管理を行い安 全性で快適な道路環境を維持する。 ・市内の道水路維持修繕…45箇所 ・道路街路灯…746基 ・市道の草刈…67箇所 ・市道凍結の為の維持管理			事業費の主な内訳 (22年度)					
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)		
				光熱水費	10,648				
				修繕費	11,217				
				委託料	903				
	原材料費	8,144							
			計	30,912					

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	道水路の修繕工事及び補修 街路灯の修繕及び電気代
23年度活動予定	道水路の修繕工事及び補修 街路灯の修繕及び電気代
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
・道水路の利用者 ・市民	
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
・安全に通行できるようになる ・快適に暮らせるようになる	
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	
・安全に通行できるようになる ・快適に暮らせるようになる	

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 各地区の電気	月数
イ 緊急修繕路線数	箇所
ウ 道路維持路線数	箇所
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 人口	人
イ 人口	人
ウ	
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 修繕箇所数/必要箇所数	%
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 道路整備に関する住民の満足度	%
イ 生活環境に関する住民の満足度	%

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		6,168	6,150	6,150	6,150		
		一般財源	千円	32,212	29,027	40,313	36,793	70,537	70,537	
	事業費計 (A)		千円	32,212	35,195	46,463	42,943	76,687	76,687	0
	人件費	正規職員従事人数	人	8	8	9	9	9	9	
		延べ業務時間	時間	800	810	810	810	810	810	
		人件費計 (B)	千円	3,569	3,613	3,209	3,209	3,209	3,209	0
		(A)+(B)	千円	35,781	38,808	49,672	46,152	79,896	79,896	0
活動指標	ア	月数		51.0	52.0	52.0	52.0	52.0	52.0	
	イ	箇所		39.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	
	ウ	箇所		1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
対象指標	ア	人		72,669.0	72,869.0	72,833.0	72,900.0	73,000.0	73,100.0	
	イ	人		72,669.0	72,869.0	72,833.0	72,900.0	73,000.0	73,100.0	
	ウ									
成果指標	ア	%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	イ									
	ウ									
上位成果指標	ア	%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	イ	%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	道路、水路等の安全性を確保するため
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	道路、水路等老朽化に伴い維持管理に費用がかかる
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	道路、水路等の安全性を確保するため老朽化に伴い早期に行ければならない修繕要望が多数きている

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	各地区からの多数の危険箇所の修繕要望があり毎年500件近く寄せられている。順次行っているが、事故等を未然に防止する観点から予算の増大と職員の数が足りない状況である。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	無

事務事業名	道水路の維持管理事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由 ↓] 道水路の維持補修により快適性や安全性を確保することは、道水路環境整備に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由 ↓] 公共施設等の適正維持管理は、市が行う義務がある。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由 ↓] 公共施設等の適正維持管理は、市が行う義務がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由 ↓] 必要最小限の人員と時間において執行しているので余地がない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入 ↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 統合・連携ができない ⇒ [理由 ↓] 計画での整備を進めているので、統合はできない。 ☐ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容 ↓] 地域要望であるためできない。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒ [理由 ↓] 地域要望であるためできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 安価での執行を行っているので無理である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 今でも人員が不足しているので無理である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由 ↓] 地域住民のための事業の推進につながるので公平・公正である。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	平成22年度において地区要望箇所等の改修、修繕は役、300箇所実施した。毎年維持補修が多くなる中、財政厳しい中で対応する事に苦慮しているのが現状であります。しかしながら余りある予算ではないので平成23年度においても地区要望箇所の的確な判断並びに安全性を優先先に考える中で施工箇所の決定も必要と考えられる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①		成果優先度評価結果	④																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑤																					